
コミセンおはなし広場

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 朗読や、ことばあそび等に親しみ、おはなしや朗読を聞く楽しみを発見する機会とする。
- 期間 原則第一火曜日
平成28年4月5日（火）～平成29年3月7日（火）
（計10回）
- 時間 午後3時20分～3時40分
午後3時45分～4時15分（計8.4時間）
- 対象 市内在住の幼児と保護者及び小学生
- 参加者 延べ参加者103人
- 講師 赤いりんご朗読会
- 事業内容

回	月 日	人数	内 容
1	4月 5日（火）	11人	絵本2冊と紙芝居1冊を幼児向けに行った。
2	5月10日（火）	24人	小学生向けは参加者がなかったため、実施できなかった。
3	6月 7日（火）	5人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
4	8月 2日（火）	3人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
5	9月 6日（火）	10人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
6	10月 4日（火）	8人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
7	11月 1日（火）	4人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
8	1月10日（火）	11人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
9	2月 7日（火）	14人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。
10	3月 7日（火）	13人	絵本各2冊と紙芝居各1冊を幼児向けと小学生向けに行った。

○ ま と め

開始2年目の事業であり、乳幼児向けと小学生向けに時間を区切って実施しているが、参加者は圧倒的に幼児が多い。昨年度より参加者が増えており、今後も継続的に実施し、定着した事業へと育てていきたい。

コミセンおはなし広場 なつのスペシャル ～ちょっと怖いおはなし会～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 毎月開催しているコミセンおはなし広場の夏の特別講座として、その内容を充実させ、子ども達に朗読やことば遊びに親しみ、おはなしや朗読を聞く楽しみを発見する機会とする。
- 期 間 平成28年7月20日（水）
- 時 間 午後2時～3時（計1時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・50人
- 参加者 68人
- 講師 赤いりんご朗読会
- 事業内容 手袋人形「ろくろっくびのたんじょうび」、絵本「ゆうれいとどろぼう」、紙芝居「ゆきおんな」、エプロンシアター「三びきのやぎのらがらどん」、ことばあそび「お経」、人形劇「さんまいのおふだ」

○ ま と め

小学生低学年向けの企画をし、西堀小学校・新堀小学校の1～3年生に個別にチラシの配布を行った。

参加者の内訳は、大人14名、乳幼児8名、小学生46人だった。

最近の読み聞かせ講座の傾向として、乳幼児の参加が目立っていたが、今回は企画の目的を達成できた。

今年は、市内各地や近隣の清瀬市などでも非常に多くの施設で、夏のおはなしが企画される傾向にあった。

今後も読み聞かせの定番である伝統的な話を子ども達に伝える機会を継続していきたい。

コミセンおはなし広場スペシャル クリスマスのおはなし会

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 毎月開催しているコミセンおはなし広場のクリスマスの特別講座として、その内容を充実させ、子ども達に朗読やことばあそび等に親しみ、おはなしや朗読を聞く楽しみを発見させる契機とする。
- 期 間 平成28年12月22日（木）
- 時 間 午後2時～3時（計1時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・50人
- 参加者 36人
- 講師 赤いりんご朗読会
- 事業内容 絵本「サンタクロースはおもちやはかせ」、大型紙芝居「サンタクロースってほんとにいるの」、パネルシアター「3びきのくま」、ことばあそび「クリスマスをたのしみにしている女の子」ほか

○ ま と め

毎年、2学期終業式の午後に開催している講座である。

広報手段として、西堀小・新堀小の1～3年生全員に個別でチラシを配布している。

最近の読み聞かせ事業の傾向として、低年齢化が見られたが、今回は本来の対象である低学年の参加が多かった。

サークルの協力の下、継続的に行っている事業だが、参加者数が想定しづらい講座である。

しかし、今後も継続的に行う必要性のある事業だと思われる。

春のおはなし会

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 春にちなんで、和楽器の演奏や朗読等に親しみ、お話や読書を聞く楽しさを発見する契機とする。
- 期 間 平成29年3月4日（土）
- 時 間 午後1時30分～2時30分（計1時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生・50人
- 参加者 38人
- 講師 おはなしカスタネット
- 事業内容 三味線、笛、太鼓の和楽器の演奏に合わせての合唱、手遊び、紙芝居、大型絵本等、春を感じるおはなし会
- ま と め

チラシを近くの小学校や学童保育にも配ったが、インフルエンザの振替えて登校日となった小学校があり、小学生の数がのびなかったのが残念だった。

毎年、「春のおはなし会」は日本の伝統楽器である和楽器でいろいろな曲を演奏する。子どもたちに馴染みのない三味線や小鼓の音色に触れるいい機会になる。

絵本の読み聞かせや手遊び、紙芝居など子どもの情操教育に欠かせないプログラムが用意され、子どもたちに飽きさせない内容になっている。

プレゼント付きジャンケン大会では大人も子どもと一緒に楽しめた。

帰りには赤ちゃん用、幼児用、大人用それぞれに可愛いお土産が用意された。

手作りの温かい講座になった。これからもたくさんのお子どもたちに参加してほしいと思う。

子ども体験教室

～親子で手打ちうどんを作ろう！～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 夏休みの思い出に、ものづくりを体験する。
- 期 間 平成28年7月28日（木）
- 時 間 午前10時～午後2時（計4時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生と保護者・8組
- 参加者 6組（16人）
- 参加費 材料費1,000円
- 講師 新座市食生活改善推進員協議会
- 事業内容 新座の郷土料理である手打ちうどんを、親子で体験し肉汁うどんとして食する。
- ま と め

ここ数年、夏休みの子ども体験教室として「親子で手打ちうどん作り」を企画している。新座の郷土料理である手打ちうどんを、子ども達に伝承していく一端を担えればと思う。

食生活改善推進員協議会から6名の講師（うどん名人を含む。）を招いて、うどん作りを教えていただいた。各テーブルにそれぞれ講師が1名つき、丁寧にご指導いただいた。テーブルごとに進み具合は違ったが、みんな時間内に終わった。

短い時間の中で、コシのある美味しいうどんができたのは、講師の長年の経験とコツによるもので、それを子ども達が直に体験できたことは有意義であったと思う。これからもたくさん子ども達に伝えていきたい郷土料理である。

夏休みの自由研究にしてもらえたらうれしい。

子ども体験教室

～科学の力でハンバーグづくり～

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 夏休みの思い出に、ものづくりを体験する。
- 期 間 平成28年8月19日（金）
- 時 間 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生3～6年生・16人
- 参加者 26人
- 参加費 材料費1,000円
- 講師 キッチンの科学プロジェクト
- 事業内容 お肉にまつわる科学実験、ハンバーグづくり
- まとめ

子どもによるハンバーグづくりということで、講師の他に各テーブルに1人スタッフをつけてもらい、安全面に配慮した。最後までみんな怪我なく楽しく調理できてよかったと思う。

「ひき肉の粘りの科学（アクチンとミオシンの結合）」「なんでお肉を焼くといいかおりがして、色が変わるのか（メイラード反応）」「お肉のうまみって何？」「玉ねぎを切るとなぜ目にしみるの？」など普段あまり気にしない不思議な科学を解きながら美味しいハンバーグづくりが出来たのではないかと思う。

他に副材料（玉ねぎ、パン粉、卵）の働き、食中毒の話など食に関するいろいろなことが学べたと思う。

後日談で、何人かのお子さんが、家で全部1人でハンバーグを作って家族に振舞ったと伺った。あるお母さんから「とても美味しかったです」とお聞きし、夏休みのいい思い出になったのではないかとほっこりした。

子どもたちが食の大切さ、楽しさを感じ興味をもってくれたらうれしい。

書き初め教室

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 小学生の書き初めの宿題に対応し、学校提出用の作品を仕上げる。
- 期 間 平成29年1月6日（金）
- 時 間 午前9時30分～正午（計2.5時間）
- 対象・定員 市内在住の小学生3～6年生 20人
- 参加者 20人
- 講師 公益財団法人日本習字教育財団 教授 田尻 蓉子
他 アシスタント5名
- 事業内容 学校の課題に基づき、筆運びや配置、名前の書き方を指導してもらい、学校提出用の作品を仕上げた。
- ま と め

講師の他にアシスタントが5人ついてくれたため、きめ細やかな対応ができた。

各公民館で事業の時期がうまく集中したためか、キャンセルの繰り上げの際、他館で参加できた子どももいたが、受講出来なかった子も多かった。

学校清書の他に、各自1枚提出してもらい、ロビーに展示した。

たのしい食育科学教室

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨　　子どもの身体と心を育てる「食」の見方を変える。科学的に「食」を学び、「手作りの食のおいしさ」や「料理の楽しさ」を子どもに知ってもらおう。
- 期　　　　　間　　平成29年3月25日（土）
- 時　　　　　間　　午後1時～午後3時（計2時間）
- 対象・定員　　市内在住の小学生・20人
- 参 加 者　　　28人
- 講　　　　　師　　キッチンの科学プロジェクト
- 事業内容　　科学の力で和菓子づくりを体験してもらい、食と科学のつながりについて学ぶ。
- ま と め

紫芋を使い、レモン汁を混ぜるとピンク色に、重曹を混ぜると青色に変化するという、酸とアルカリの化学変化を学び、三色の材料を使って練切りを作った。

また、これらに関して、アントシアニンについても学んだ。

十文字学園女子大学の学生がメイン講師を務め、各テーブルに大学生のアシスタントがついた。

学生が講師であったため、子ども達も、お姉さん、お兄さんに話をするような、ほのぼのとした良い雰囲気の中で講座が行われた。

小学1～3年生の参加者は、保護者同伴としたが、保護者も気軽に講師と話をして学んでいた姿が印象的だった。

わかば学級企画準備会

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 2・3歳児とその保護者のための講座「わかば学級」の学習プログラムを企画する。
- 期 間 平成28年5月12日・5月19日の木曜日（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 5人
- 参加者 5人 参加延べ人数 8人
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	5月12日（木）	顔合わせ・日程・回数・内容・講師
2	5月19日（木）	内容・講師・まとめ

○ ま と め

広報で公募したが応募者がなかったため、保育サポーターに依頼して実施した。

前年度のアンケート結果を参考にして（これから受講してみたい講座の希望の多かったもの 例：体操、手芸、お料理など）若いお母さんのニーズに合わせて検討した。

6回の内容をジャンル別に①運動②子育て③料理④物作り⑤歌⑥レクリエーションに分けて検討した。

それぞれに子育てに参考となる内容になった。

わかば学級の概要が決まったので3回を企画していたが2回で終わりとした。

わかば学級

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 育児は多忙を極めるが、時には子どもと離れ、多彩なプログラムでリラックスして、楽しみながら学び、子育ての仲間づくりをめざす。
- 期 間 平成28年9月23日～10月28日までの毎週金曜日（計6回）
- 時 間 午前10時～正午（計12時間）
- 対象・定員 市内在住の2歳～就園前までの幼児と保護者・20組
- 参加者 19組 参加延べ人数77人
- 保 育 19人 延べ76人
- 参加費 実習材料費 1,200円
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師 等
1	9月 23日（金）	骨盤調整教室	フリーヨガインストラクター 大島 あずさ
2	9月 30日（金）	夢ノート教室	魔法の夢ノートビジョントレーナー 長山 幸恵
3	10月 7日（金）	紅茶教室	シニアティインストラクター 安田 弘美
4	10月 14日（金）	手作りブローチ教室	手芸作家 大角 羊子
5	10月 21日（金）	ゴスペル教室	ソプラノ歌手 箭内 明代
6	10月 28日（金）	大人の読み聞かせ&ハロウィンパーティー	おはなしカスタネット 代表 新保 藤子

○ ま と め

今年は同時期にコミセンで、市主催の「なかま保育」事業が開催された事や、金曜日に幼稚園のプレスクールが多かったという事もあって集客に苦しんだ。それに加え、広報の募集にも日にちのゆとりがなかった。来年はなるべく日程を調整し、他事業と重ならないようにしたいと思う。

今年度は、気候の変動が激しく体調を崩す子どもが多かったのか、例年より毎回欠席者が多かった。

講座内容はバラエティに富んだ良いものだったと思うが、ゴスペルは苦手とする人がいた。アンケートで「熱心に心を込めてみてくれる保育サポーターさんのおかげで安心して預けられた」という回答をいただき、その努力に心から感謝したい。

CO₂削減 緑のカーテンで夏をすずしく

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 ゴーヤ等で緑のカーテンを作る方法を学び、環境対策について考える。
- 期 間 平成28年6月16日（木）
- 時 間 午後2時～4時（計2時間）
- 対象・定員 市内在住・在勤の方 15人
- 参 加 者 9人
- 講 師 環境まちづくり地域協議会inにいざ 代表 櫻 博子 他2名
- 事 業 内 容 CO₂削減等環境問題について学び、緑のカーテンを作る方法を学び、ゴーヤの苗を配布する。
- ま と め

当館では、開催回数の少ない「環境に関する事業」について、中央・栄・栗原・大和田公民館と5館合同で同じ講師で同じ内容という企画で講座が実施できた。

講義は、参加者が最も興味のあるゴーヤの育て方について、講師の経験から得た丁寧な説明があり、質疑応答の時間も十分あったため、皆、納得のいく内容であった。

昨年度に引き続き、今年で2回目の開催となったが、今後も毎年開催し、緑のカーテンの普及に努めたい。

古布でつくる布ぞうり

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 不要となった衣類等を再利用し、実用的な布ぞうりを一足作る。
- 期 間 平成28年8月31日・9月7日の水曜日（計2回）
- 時 間 午前9時30分～正午（計5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 15人
- 参加者 13人 参加延べ人数 24人
- 参加費 100円（鼻緒材料代）
- 講師 布ぞうり講師 藤山 百合子
- 事業内容 布ぞうりの作り方を学び、実際に完成させた。
- ま と め

台風の影響で、日程を変更して講座を行った。

募集後、参加者に持ち物を連絡したところ、材料（幅6cm、長さ150cmの木綿古布30本）を用意できないという理由でキャンセルが複数人出た。

講師の指導の下、各自わら草履を完成させたが、2日間では編み方を覚えきれず、講座終了後も熱心に講師に質問をしていた。

一部の参加者からサークル化を望む声があったので、協力をしていきたいと思う。

はじめての絵手紙

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 はじめての方を対象に絵手紙の基本を学び、素朴であたたかな手紙を書く。
- 期 間 平成28年12月7日・14日の水曜日（計2回）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 14人 参加延べ人数 24人
- 講師 日本絵手紙協会講師 外山菜名美
- 参加費 材料費200円
- 事業内容 絵手紙の基本を学び、ピーマン、年賀状を書く。
- ま と め

近年、通信手段として携帯でのメールが王道になってきたが、頂いて嬉しい温かなぬくもりのある絵手紙を講座とした。

1回目は墨で線や名前の練習をした後、実際に顔彩という絵手紙専用絵の具でピーマンを書いた。2回目は線や「いろはにほへと」の文字を練習し、各自用意したお正月の題材を使って年賀状を書いた。

みんな、はじめは緊張しドキドキしながら書いていたようだが、しだいに楽しそうに書いている様子が見うけられた。

それぞれオリジナリティ溢れる素敵な作品に仕上がった。

添える言葉も人それぞれ趣があっている。

「講座回数をもう少し増やしてほしい」「またやってほしい」というご意見をいただいた。

次回開催する場合はテーマを「年賀状を書く」とし、3～4回の講座にすると良いと思う。

川柳入門

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 川柳に興味のある方を対象に、川柳について学び、実際に句を詠み、講評を受け、今後のライフワークの契機とする。
- 期 間 平成29年1月27日～2月17日までの毎週金曜日（計4回）
- 時 間 午後1時30分～3時（計6時間）
- 対象・定員 市内在住・在勤の方 20人
- 参加者 9名 参加延べ人数32人
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師 等
1	1月 27日（金）	川柳の基礎知識	全日本川柳協会常任幹事 高鶴 礼子
2	2月 3日（金）	披講・講評	全日本川柳協会常任幹事 高鶴 礼子
3	2月 10日（金）	披講・講評	全日本川柳協会常任幹事 高鶴 礼子
4	2月 17日（金）	披講・講評	全日本川柳協会常任幹事 高鶴 礼子

○ ま と め

残念ながら、応募者の少ない講座となってしまった。

しかし、参加者からは、講評等じっくり聞けちょうどいい人数であったという意見をいただいた。

講座修了後、複数人からサークル化の話が持ち上がり、サークル化することとなった。

西堀・新堀コミュニティセンターには、短歌、川柳のサークルがなくなってしまうので、当初の目的が達成できた。

女性のためのカルチャールーム

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 女性の教養講座として様々な分野の芸術や健康法を体験学習し、自分を高める方法を見つけよう。
- 期間 平成28年7月7日・14日の木曜日（計2回）
- 時間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の女性 20人
- 参加者 20人 参加延べ人数 33人
- 保育 3人
- 講師 運動指導員 泉 実千枝
- 事業内容 体に無理のないストレッチとそれをモチーフにしたリズム体操で楽しく体を動かす。
- まとめ

今年は健康体操とした。

言葉から浮かぶイメージが年配向きにみえたのか、保育付き講座であったが保育の申込は少なかった。やはり、保育付き講座は若い世代のニーズにあったものを選んだ方が良かったと思った。

全2回で、前半はストレッチ（1回目：上半身、2回目：下半身）をして、後半はストレッチを取り入れた各パーツの動きを組み合わせ、音楽に合わせて踊った。心地よい音楽とともに、「静」と「動」のバランスのとれたストレッチを指導してくれ、日頃あまり使われない筋肉を十分に伸ばせたのではないかと思う。ぜひ、日々の生活に役立てていただきたいと思う。

ロビーコンサート

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 昭和60年11月1日の西新コミセンの開館記念日にあわせてサークルが中心となってロビーで演奏し、一般の方々に気軽に音楽を楽しんでもらう。
- 期 間 平成28年11月5日(土)
- 時 間 午後1時30分～3時(計1.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 65人
- 出演団体 三絃の集い、わらべ会、笛の会、新座尺八同好会
- プログラム

	団体名	演奏曲目
1	三絃の集い	秋田節秋田米とぎ唄、忠義ざくら、灘の酒造り祝い唄 新しげさ節
2	わらべ会	浦島太郎、故郷、荒城月夜の曲
3	笛の会	もみじ、里の秋、遠き山に日は落ちて、見上げてごらん夜の星を、千の風になって、ふるさと
4	新座尺八同好会	ソーラン節、黒田節、竹田の子守歌、荒城の月、箱根の山紅葉、北上夜曲、矢切の渡し、北国の春

- ま と め

「ロビーコンサート」も6回目を迎え、今年は当館の邦楽のサークルに出演をお願いした。1団体が参加出来ず、いつもより参加サークルが少なかった。

高齢化の進むサークルもあり、控室などを1階にする配慮が必要だったと反省する。

コンサート当日は晴天に恵まれたが逆に掛ける機会になったためか、来場者数はのびなかった。

各サークルは練習の成果を発揮してコンサートを盛り上げてくれた。

マイクの調整がうまくいかず、準備不足を反省する。

昼下がりのロビーは急に温度も下がってくるので、空調も配慮しなければと思う。

ゲスト出演の新座尺八同好会さんの尺八の音色に魅了された。

西屋敷を歩く

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 地域の昔を知るフィールドワーク
- 期 間 平成28年11月26日(土)
- 時 間 午前9時30分～正午(計2.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 7人
- 講師 生涯学習スポーツ課職員
- 事業内容 西堀・新堀コミュニティセンターから平林寺までの旧跡を学びながら歩く。
- ま と め

市内の名所・旧跡を学習する機会を設けて欲しいという要望が多かったことから、継続的に行っている事業であり、今年度は、西屋敷地区の歴史を学ぶこととした。

2日前に季節外れの雪が降り、積雪があり、開催が危ぶまれたが、無事に開催できた。

秋の紅葉の時期の、ウォーキングを兼ねたフィールドワークとして企画したが、参加者が少なかったのが残念である。

しかし、地域の昔を知るという事では、非常に勉強になった。

今後は、より具体的に内容を告知するなど、広報内容を考えていきたい。

公開講座 年の輪寄席

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 「年の輪学級」で評判の良い、「落語」をより多くの方に受講してもらい、「笑い」から健康を得る。
- 期 間 平成28年12月1日（木）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（計2時間）
- 対象・定員 年の輪学級参加者と市内在住又は在勤の方 30人
- 参加者 44人
- 講師 三遊亭圓王、三遊亭圓塾、三遊亭王笑、三遊亭三久、三遊亭広花
- 事業内容 真打 三遊亭圓王師匠他、社会人落語家「三遊会」による寄席
- ま と め

真打 三遊亭圓王師匠と社会人落語家4人による寄席を行ったが、当日は皆古典落語を堪能し大満足であった。

年の輪学級の公開講座として募集したが、平日の午後という時間帯が影響したのか、一般参加者も高齢者がほとんどであった。

師匠の話術は圧巻で、皆楽しい時間を過ごせた。

公民館で唯一の寄席講座なので、今後も継続していきたい。

人権研修会

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 公民館利用団体代表者を対象に人権について学習する。
- 期 間 平成28年12月3日(土)
- 時 間 午後1時30分～2時(計0.5時間)
- 対 象 西堀・新堀コミュニティセンター利用団体代表
- 参 加 者 37人
- 事 業 内 容 DVD鑑賞 「クリームパン」
- ま と め

利用者懇談会に合わせて研修会を開催した。

「いのちと人権～つながる命を感じて～」というテーマのもとに「クリームパン」というDVDを鑑賞した。

短い時間であったが、改めて人の命の大切さを感じ、涙した。

次回も感動する作品を鑑賞したい。

歌舞伎の世界を楽しむ

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 日本伝統文化である歌舞伎について、歴史や成り立ち、見どころを学び、実演、体験によって歌舞伎の楽しさを知る。
- 期 間 平成29年2月18日（土）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・25人
- 参加者 9人
- 講師 NPO法人伝統文化みらい塾 立花 志十郎
- 事業内容 歌舞伎の歴史を学び、せりふや立ち廻りの実演後、体験する。
- ま と め

歌舞伎は日本固有の演劇で伝統芸能の1つである。しかし、一般的に興味はあっても敷居の高さを感じてしまい、身近なものになっていない。そこで、その歌舞伎を身近に感じ、楽しんでもらうために講座を企画した。

内容は歌舞伎の歴史や成り立ち、見どころなどを学び、長唄三味線の実演後、せりふ立ち廻りの実演と体験、化粧（隈取り）の体験などであった。

せりふの体験では「世話物」と「時代物」のそれぞれ一節を講師の後に続いて言った。講師の迫力あるせりふは臨場感あふれる素晴らしいもので、圧巻であった。

立ち廻りの体験もみんな自分が歌舞伎役者になったかのように楽しんでいた。

化粧体験は何人かの希望者の中から熱望した女性が行ったが、嬉しさのあまり化粧をおとさずそのまま帰った。みんなが歌舞伎を楽しんでくれた。

沖縄三線コンサート

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 午後のひとときを沖縄三線の生演奏で楽しんでもらう
- 期 間 平成29年2月26日（日）
- 時 間 午後1時30分～3時（計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・70人
- 参加者 85人
- 講師 ”あかばなー”
- 事業内容 午後のひとときを沖縄の伝統楽器である三線の音色で楽しんでもらう
- まとめ

いつもはこの時期に、セミプロによるジャズコンサートを開催しているが、今年
は沖縄の三線コンサートを開催した。全員沖縄出身のサークル「あかばなー」さん
に出演をお願いした。当日はお天気にも恵まれ、たくさんの方が来場してくれた。

馴染みのある沖縄民謡やポピュラー曲を選曲してくれ、歌詞カードも配ったので、
みんなで唄ったり踊ったりの聴衆参加型のコンサートになり、大いに盛り上がった。

途中、腹話術もあり会場がほのぼのとした空気に包まれた。

「ほんとうに楽しかった」「ぜひまたやってほしい」というご意見を多数いただき
第二弾、第三弾を考えたいと思う。

シニア向けはじめての タブレット教室

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 高齢者向けに、インターネット社会でコミュニケーションを図るためのきっかけとしてタブレットの利点や、操作技術を学ぶ。
- 期 間 平成28年8月10日（水）
- 時 間 午後2時～4時（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤のおおむね70歳くらいまでの方・20人
- 参加者 19人
- 講師 KDDI（株）認定講師
- 事業内容 パソコンが無くても簡単にタッチパネルでインターネットを楽しむタブレットの操作を体験し学ぶ。

○ ま と め

定員をはるかに超える問い合わせがあった講座であり、参加者は市内全域にわたり、注目度の高い講座であった。

1人1台タブレットを貸し出し、実際に操作をしてもらい、便利さを知ってもらった。

パソコンが無くても、情報化社会についていける、ひとつのきっかけになったと思う。

KDDI（株）の講師派遣は1施設年2回であることから、市内公民館全体で調整をし実施したい事業である。

また、今回の講座は、2階の最も広い研修室を使用したがる、参加者から、「シニア向け講座」なのに2階が会場では階段の上り下りをするのが大変であるという指摘をいただいた。

貴重な意見として今後の講座立案の参考にしたい。

シニア向けはじめての スマートフォン教室

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 シニア向けに、インターネット社会でコミュニケーションを図るためのきっかけとしてスマートフォンの操作を学ぶ。
- 期 間 平成28年10月18日（火）
- 時 間 午後2時～4時（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・20人
- 参加者 20人
- 講師 KDDI（株）認定講師
- 事業内容 パソコンが無くても簡単にタッチパネルでインターネットを楽しむスマートフォンの操作を体験し学ぶ。（アンドロイドOSを使用）
- ま と め

定員に達するのが早い申し込み状況であった。申し込みの電話は続き、市民の関心度が非常に高い講座であった。

1人1台の端末を貸し出し、実際に操作をしてもらい、携帯電話との違いやその機能の便利さを体感してもらった。

高齢者のIT事業としては、パソコンよりも気軽に入門できる等、非常に効果的な講座であるため、今後も継続的に実施していきたい。

年の輪学級 2016

〈西堀・新堀コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 熟年時代を迎えたみなさんが、地域交流によって、人生をさらに充実させるための場を設ける。
- 期間 平成28年10月20日～12月8日までの毎週木曜日
(11月3日(祝)を除く)(計6回) ※5回目は中止
- 時間 午後1時30分～3時30分(計18時間)
(館外学習は8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方 40人
- 参加費 館外学習は実費負担
- 参加者 32人 参加延べ人数 158人
- 講座内容

回	月 日	内 容	講 師
1	10月20日(木)	みんなで楽しく歌おう	うたごえSORA
2	10月27日(木)	脳を活性化させましょう!!	(株) マナウェイ代表 中村 真奈子
3	11月10日(木)	館外学習(埼玉県立歴史と民族博物館・造幣局埼玉支局)	
4	11月17日(木)	消費者関連のトラブルあれこれ	新座市消費生活相談員
5	11月24日(木)	降雪のため中止	
6	12月 1日(木)	[公開講座] 年の輪寄席	真打 三遊亭 圓王他
7	12月 8日(木)	にいざの遺跡	新座市学芸員

- ま と め
7週に及ぶ長い講座であったが、第5回は季節外れの降雪があり、中止となってしまった事は残念であった。
人気のある、リピーターの多い講座であり、毎年企画に悩まされる。
今後は、世の中の動向に注目して、タイムリーな企画を提供していきたい。